

たまかわ

1997

7

No.365

空と緑“新、呼吸する”

広報TAMAKAWA



新年あけまして
おめでとうございます

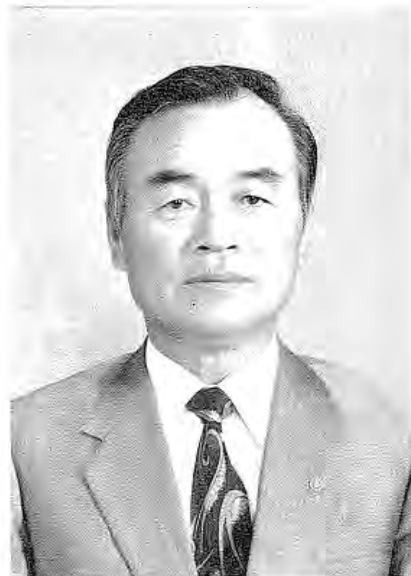
今年のエト「丑」の
手作りのお面を
着けました。
今年は「一年生」。
がんばるぞ!!

(いずみ幼稚園)

賀正



滑走路延長工事が進む福島空港



玉川村長 車田次夫

豊かさを

実感できる村づくりに

取り組みます

新年あけましておめでとう
 ございます。輝かしい新春を
 迎え村民の皆様のご健勝を心
 からお慶び申し上げますと共に
 ご多幸とご繁栄をお祈り申し
 上げます。昨年は、村政各般
 にわたり温かいご支援ご協力
 をいただきおかげさまで村政
 が順調に推進することができ
 ましたこと心から感謝を申し
 上げます。又、花いっぱい運
 動や空き缶拾いなどゴミのな
 い美しい村づくりのため、ポ
 ランティアの皆さんのお力添
 えをいただきましたこと、心
 からお礼申し上げます。
 本年も引き続き職員の重大
 さに身を引き締めながら初心
 に帰り一層対話を進めながら
 「未来の夢」実現のため、村民
 一人ひとりが豊かさを実感出
 来る村づくりに向かって着実
 に前進すべく決意を持って新
 に取り組んでまいります。さ
 て内外経済情勢は依然として
 厳しいものがあります。経済

構造の空洞化など社会情勢に
 おいても国際化高度情報化
 更に高齢化、価値観の多様化
 など大きな変革の時代を背景
 に、行政の需要は増大し、質的
 にも大きく変化しております。
 本村においても、福島県の
 空の玄関口としての空港周辺
 整備事業、人間創造の形成を
 基本理念とするあぶくま新高
 原都市構想、東京一極集中の
 是正と、多極分散型国土形成
 に対応した首都機能移転の受
 け皿づくりなど大きな課題が
 山積しております。また、
 産・学・住が有機的に結合した
 新しいふるさとづくりを目指
 す郡山地域テクノポリス構想
 やテクノパーク整備構想、更
 に高速交通時代に対応したラ
 イアンゲルハイウエー、F I
 T構想、民活による温泉ポー
 リング、遊の時代に対応すべ
 くレジャーランド構想など、
 将来を期す大型プロジェクト
 の実現に向けて、積極的に取
 り組んで参りたいと思えます。
 間近にせまった二十一世紀
 を展望した街づくりを進める
 にあたって、第四次玉川村振
 興計画の実現のため鋭意努力
 を傾注している所であります。
 恵まれた自然環境と緑豊かな
 景観を保ちつつ、七つの新しい
 地域づくり、いわゆる「新」空港
 都市づくり、「新」産業づくり、
 「新」交通網づくり、「新」生
 活環境づくり、「新」人づくり、
 「新」みどりづくり、「新」核
 づくりであります。
 今年の重点事業として、空
 港関連周辺整備、道路網の整
 備、付加価値農業の確立、商
 工業の育成、高齢化社会に向
 けての福祉の充実と健康づく
 り、企業誘致、村民の憩いの
 場としての総合運動公園整
 備、水資源確保、今出ダム建
 設促進さらに時代に対応出来
 る人づくりであります。これ
 らの目的達成に向けて最善の
 努力を尽くして参る所存であ
 りますので、本年も村民皆様
 の変わらぬご支援とご協力を
 賜りますことをお願い申し上
 げまして、年頭のごあいさつ
 といたします。

住みよい郷土づくりに 努めます

新年あけましておめでとう
 ございます。

村民の皆様には、希望に満
 ちた輝かしい新年を迎えられ
 ましたこと心からお慶び申
 上げます。
 昨年は、村議会議員の改選
 があり、私も議長という重責
 を担うことになりました。村
 民各位には、大変お世話にな
 り、スムーズな議会運営がで
 ましたこと厚く御礼申し上げ
 ます。

平成と年号を改めまして九
 年目を迎え、我が玉川村も空
 港を核として、日々変貌を見
 ておりますが、経済情勢は、
 依然として長いトンネルから
 脱出できない状況が続いてお
 ります。
 今、我が国は、少子高齢化
 社会が急速に進行中であり、
 二十一世紀を見据えた諸施策
 を展開して行かなければなり
 ません。
 我が村においても、地方分



新年明けまして おめでとう ございます

■村役場

村長 車田次夫
 助役 小針康敬
 教育長 小林豊司
 外 職員一同

■村議会

議長 高林浅男
 副議長 宗形徳次
 外 議員一同

■区長会

会長 森清重
 副会長 小林近芳
 外 区長一同



玉川村議会議長 高林浅男

権の対応、首都機能移転の受
 皿づくり、空港の国際化、トラ
 イアングルハイウエー等々、
 大きな課題が山積する中で、
 「豊かで、住みよい、新呼吸する
 玉川」を目指し、着実に前進
 することが望まれます。
 産業の振興、福祉施策、リ
 サイクルの対応、上下水道の
 整備、道路網の整備、総合運
 動公園の建設等、重要事業が
 計画されておりますが、これ
 が推進にあたりましては、村
 民皆様方のご理解とご協力を
 なくては実現できません。
 議会といたしましても、こ
 れら諸課題に対応するため、
 尚一層の研鑽に努め、村民の
 皆様と共に、住みよい郷土づ
 くりを努めて参りたいと考え
 ておりますので、本年も変わ
 らぬご支援、ご指導をお願い
 申し上げます。年頭のごあ
 いさつといたします。

お座敷列車で行く ふれあいの旅「玉川村民号」

今年度のお座敷列車で行くふれあいの旅「玉川村民号」は、玉川村とJR磐城石川駅主催、玉川村区長会後援で11月30日（土）から1泊2日の日程で行われました。参加者99名が宮城県女川町方面への楽しい旅を楽しみました。

華やかに出発式

出発セレモニーは、午前8時45分から泉郷駅前で開催されました。式では、車田村長と前田磐城石川駅長のあいさつと、のあとテープカット、花東贈呈が行われました。

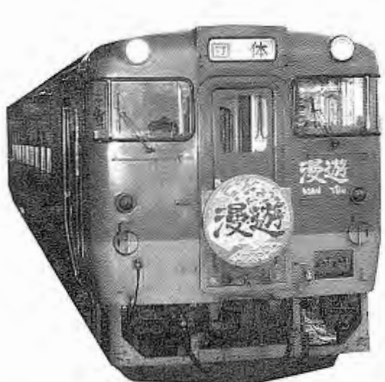
参加者は、それぞれ3両の車輦に分散して乗車、午前8時53分定刻に泉郷駅を出発しました。

車内では、各車輦毎に「車内懇談会」が開かれ、車田村長から村政全般にわたっての講話が行われたあと、意見交換が行われました。

列車は、水郡線から東北本線、石巻線を通って渡波駅に到着。ここからバスに乗換え



出発セレモニーでのテープカット



お座敷列車「漫遊号」



高速船「ラベルメル号」



マリンパール女川にて



船内でくつろぐ参加者

高速船で金華山へ

2日目は、ホテルを出発して魚と海岸をテーマにした「マリンパール女川」を見学。女川湾の海中探索が体験できるシアターや海の生物たちを立体映像（3D）の迫力ある画面で体験しました。

女川港から金華山までは高

速船で移動、時速60kmで進む。金華山では、寒さの中を黄金山神社まで登り、全員でお祓いを受けました。金華山から再び高速船で塩釜港へと向いました。



金華山黄金神社にて



車内でのカラオケ

思い出さずにはい そくて、帰路へ

塩釜市では、名産のかまぼこ工場で、かまぼこの製造過程を見学。見学後は、家族などへのお土産品などを買いて帰る支度となりました。東北本線の塩釜駅から再びお座敷列車に乗り、泉郷駅まで帰路につきました。帰りの列車内では、旅の疲れも無く、終始カラオケで大いに盛り上がり、楽しい旅の締めくくりとなりました。

たパーク内には、使節団が使用した船が当時のままに復元されており、その威容さにビックリ。しばしの間のタイムスリップを楽しみました。



復元船「サンクワイ」バスターミナルの船上にて

歌や踊りで楽しい一夜

ホテルに到着して、夜の懇談会が午後6時から開かれました。小林教育長の開会のこたばのあと車田村長、仁井田村議会議員からあいさつが行われました。また、ホテル所在地の女川町の観光課長が訪れて、歓迎のあいさつと町の紹介がされました。

森区長会長の乾杯の音頭で



森区長会長の乾杯！



ホテルの宴会で踊りを披露

「21世紀の日本の首都はここ」

あぶくま石川21石川地方首都機能誘致民間連絡協議会（加納武夫会長）主催の首都機能移転シンポジウムは、12月15日（日）午後2時から石川町母畑温泉ホテル八幡屋で開催され、500人が出席。本村からも多くの村民が出席しました。

前国土庁長官鈴木和美氏（郡山市生まれ）が、「これからどうする首都機能移転」と題して記念講演を行いました。鈴木前長官は、「なぜ今、首都機能移転なのか？」を切り口に話され、出席者は熱心に耳を傾けていました。



会場からの質問に答えるパネラー

草野恵一
有村かおり
新家健精

パネルディスカッションでは、「ゆめ・人間・メッセージ」あぶくまへの合意をテーマに、新家健精氏（福島大学教授）、有村かおり氏（TVキヤスター）、草野恵一氏（ふるさと財団事業部長、玉川村生まれ）がパネラーとなり、加納武夫会長のコーディネイトで行われました。

首都機能移転の必要性や移転地があぶくま地域になった場合のメリットなどにパネラーからの活発な意見が出されました。

また、このシンポジウムは石川地方町村会が後援となつて行われました。



鈴木前国土庁長官の記念講演

玉川村文化講演会

舌好調!! 貞花節で

観客を魅了

平成8年度第1回玉川村文化講演会は、講師師「五代目一龍齋貞花」師匠を講師に招いて、12月12日(木)午後6時30分からマーヴェエクス末広2階大ホールで開かれました。一龍齋貞花師匠は、昨夏の独演会、本年1月の成人式の記念講演会に続いて3度目の来村となりました。



講演会は、「ぬくもりのある家庭」と題して行われました。源平盛衰記の一節「子は有るも嘆き、無きも嘆き」から、子供に焦点をあてた教育論などが現在の中国の例などを引き合いに、ユーモアある独特の語り口で観客を魅了しました。また、地元伝わる民話「井戸掘り五平」の講演も披露しました。



会場の熱心な聴講者

社会福祉資金として 貞花師匠より寄付

講演終了後に、一龍齋貞花師匠から来年のエトを描いた自筆の色紙、著書と青少年を健全に育成するための社会福祉資金として村社会福祉協議会に寄付金が贈られました。

ふれあいセンターを慰問

貞花師匠は、講演会を前日午後2時からふれあいセンターを慰問。師匠は平成2年に愛知県知事よりボランティア賞を受賞しており福祉活動には特に積極的です。この日も利用者など約40名を前に笑いの絶えないおしゃべりでふれあいを楽しみました。



ふれあいセンターを慰問する貞花師匠

石川雄一先生の「子育て講演会」

“無意識にやっている親の行動が問題”

お馴染み、日本ヘルスサイエンスセンターの石川雄一先生を講師に招いての子育て講演会が、12月12日(木)午後6時30分から保健センターで行われました。「時間の限られたあなたにできる子育て『5分間の接し方が子供を変える』」と題した講演で、石川先生は、「無意識にやっている親の行動が子供の性格をつくっている」と指摘。ユーモアのある巧みな語り口や実演に聴講者の若いお母さんたちは笑いの連続。聴講者は「とても楽しくそして大変ためになりました」と話していました。



真剣なまなざしの聴講者



実演まじりの石川先生

平成8年度 優良従業員表彰式

11月23日(土)の勤労感謝の日に、村就業改善センターで、村商工会主催の平成8年度優良従業員表彰式が行われ、村内各企業から推薦された23名に古寺商工会長から表彰状と記念品が授与されました。

式終了後には、中小企業診断士の小針俊郎氏が「人を活かす」と題して記念講演が行われました。

Table with 2 columns: 事業所名 (Company Name) and 受賞者名 (Award Recipient Name). Lists 23 companies and their respective employees who were honored.

税 所得申告が始まります。 2月12日~3月17日



- ①印鑑
②営業などがある方は、出納帳簿や関係書類
③源泉徴収票(給与、恩給、年金、賃金などのある方は、必ず持参してください。)
④平成8年中に支払った損害保険料、生命保険料や個人年金保険料の支払証明書
⑤医療費のある方は、平成8年中に医療機関へ支払った医療費の領収書
⑥農業近代化資金などの制度資金の借入れがある方は利子支払証明書
⑦その他申告に必要と思われる書類

振替納税の「利用を」
所得税の納付と還付請求は金融機関の預金口座から振替できますので、ご利用をお勧めします。

- 申告に必要なもの
①住宅用家屋の登記簿謄本
②建築工事の請負契約書
③住民票の写し
④金融機関などから交付を受けた住宅取得資金にかかる借入金金の年末残高証明書
⑤住宅取得等特別控除額の計算の基礎となる住宅借入金等の年末残高額の計算明細書
譲渡所得特別控除の申告に必要なもの
個人や公的機関に土地や建物を買った場合には、譲渡所得がかかります。その特別控除を受ける場合には、売買契約書(個人)や公的機関が発行する証明書が必要です。

Table showing the tax filing schedule. Columns include Date (2月, 3月), District (区分), Region (地区名), Time (午前, 午後), and Tax Type (所得税, 住民税). It details the specific dates and locations for filing in various parts of the village.

申告相談についてのお問い合わせは役場税務課 ☎57-4622まで

平成8年分 所得申告相談日程表

Table showing consultation hours and locations. Hours: 9:00~11:30, 13:00~15:00. Locations: (西部地区) 就業改善センター, (東部地区) 須釜公民館.

トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題を
おまちしています—
役場総務課広報広聴係まで



第13回玉川村民卓球大会

12/8

玉川卓球クラブ主催の第13回玉川村民卓球大会は、玉川勤労者体育センターで、小学生から一般の部まで85名の選手が参加して行われました。開会式では、主催者を代表して玉川卓球クラブの塩澤正勝会長と草野亀雄公民館長から挨拶のあと競技に入り、熱戦が繰り広げられました。成績は次のとおりです。

(敬称略)

- 小学生の部**
- 優勝 小原功裕(須釜小)
 - 準優勝 塩沢弘美(〃)
 - 3位 小針広充(〃)
 - 〃 小針加奈(〃)
 - 敢闘賞 大野 名(〃)
 - 〃 有賀奈津美(〃)

- 一般の部(シングルス)**
- 優勝 我妻由香利(須賀川高校)
 - 準優勝 塩沢昌夫(須釜中)
 - 3位 川田崇裕(学石川高校)
 - 〃 増子正廣(玉川卓球クラブ)
 - 敢闘賞 石森聖子(泉中)
 - 〃 小針祐子(須釜中)
 - 〃 鈴木聡美(須賀川高校)

- 一般の部(ダブルス)**
- 優勝 川田崇裕・塩沢勝徳(学石川高校)
 - 準優勝 増子正廣(玉川)・増子恵美(須釜中)
 - 3位 塩沢利幸・大野 学(泉中)
 - 敢闘賞 我妻由香利(須賀)・我妻久美(須釜中)
 - 〃 宗形 勉・鈴木 誠(須釜中)
 - 〃 石森聖子・須藤好美(泉中)



児童とゲームを楽しむ利用者の皆さん

おじいさんとおばあさんと いっしょに

12/4

須釜小合唱部が慰問

須釜小学校合唱部(部員14名)は、村ふれあいセンターを訪問して、児童とお年寄りの微笑ましいふれあい交流が行われました。部員は、お年寄りに「わらべうた」や唱歌を披露したあと、いっしょにお手玉、竹わりなどの伝承遊びやゲームを楽しみました。また、歌のほかに指人形を使った人形劇「おきななかつ」を熟演じて、お年寄りから大きな拍手をもらいました。今回の事業について、顧問の三浦先生は「年度初めに合唱部では、コンクールだけを目標にするのではなくて、ボランティア活動を通して自分たちの歌を聴いてもらおうという目標をたてていました」と話し今回の事業の成功を喜んでいました。

火災シーズンを前に 婦人消防隊防火教室

12/1

玉川村婦人消防隊角田キクミ隊長では、防火、防災意識を高めることを目的に役場南駐車場を中心に防火教室を開きました。教室には、婦人消防隊の隊員100名が参加し、須賀川消防署や村消防団らを講師に小型ポンプを使用しての実践消火訓練や消火栓、消火器の使い方などを学びました。また、役場就業改善センターの日本間では、救難救助訓練として、人工呼吸の仕方の実践指導が人形を使用して行われました。



実際に放水しての訓練



県道福島空港西線を清掃中のボランティア

ゴミの無い美しい村

村海外派遣団が清掃作業

12/8

玉川村民海外派遣団連絡協議会(石井庄八会長)では、今年も清掃ボランティア活動を行いました。今回のボランティア活動は、同協議会に加入している11団体から約200名が参加して、早朝より道路沿線の空き缶やゴミを拾っての清掃を行いました。同協議会のボランティア活動は、本年度で3回目となり、年末恒例となっています。

安心して暮らせる石川地方を目指して 暴力団根絶推進協議会 が設立

12/15

石川地方暴力団根絶推進協議会の設立総会が石川警察署で開かれ、石川地方5町村の関係団体41の代表者が出席しました。総会では、協議会の会則、役員、平成8年度の事業計画、収支予算が審議されました。会長には、会則で石川地方町村会会長があたることから、関根清寿氏(平田村)が選任されました。協議会では、今後、暴力団の存在を否定して、地域住民が安心して暮らせる住みよい石川地方の実現を目指して各種活動を展開することになります。



あいさつをする関根会長(後方左から3人目が車田村長、右端が高林議長)

よい歯の コンクール表彰

10/25

平成8年度第3回「よい歯のコンクール」の表彰式が玉川村保健センターで行われました。3歳児健康診査の歯科審査で虫歯のなかった子ども7人が表彰されました。()内は地区と保護者



石川 雅隆
(小高・和典)



車田 敬斗
(小高・勉)



小林 潤耶
(竜崎・勝広)



鈴木 志織里
(中・浩勝)



杉山 大輔
(南須釜・隆幸)



大竹 栄
(岩法寺・和久)

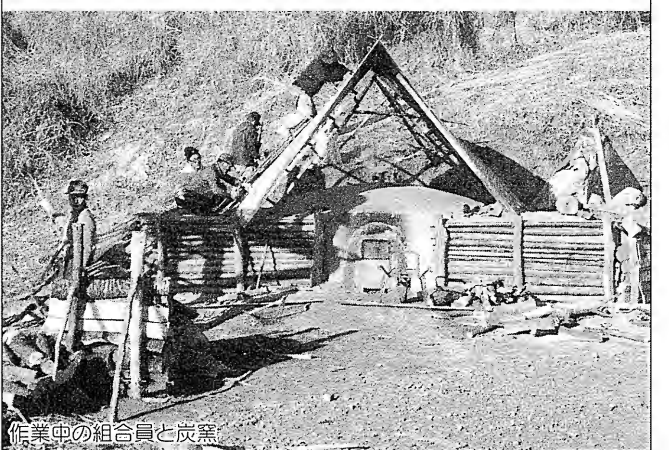


須釜 裕喜
(吉・喜一)

竹炭生産の拠点 炭窯が完成

12/11

玉川村竹炭生産組合(渡辺政一組合長)では、北須釜字来身田に炭窯を建設しました。組合員13名が自ら工事に従事して、約一カ月間の工期で完成。今後、この炭窯は、同組合が生産する「竹炭」の他に竹炭生産過程で採取される「竹酢液」の生産拠点となります。渡辺組合長も「組合では、昨年からの竹炭生産を各自の炭窯で生産してきましたが、新しい窯が出来たことから、今後は製品の均一化や量産体制に弾みがつきます」と話していました。



作業中の組合員と炭窯



お座敷列車で行くふれあいの旅より

東京は今、貴方を待っています！

(学生寮の入寮者募集)

今年の春、東京周辺の大学、短大などへ進学を希望している高校生、そして今年こそは合格してみせるぞ！と今頑張っている浪人生の諸君、学生寮を知っていますか？

学生寮は、都内やその周辺で学ぶ本県出身の学生のために設立され、沢山の寮生が勉学、スポーツ、そして大学生活にと青春を楽しんでいます。寮には、寮長、寮母がおり、いろいろなアドバイスしてくれて安心です。また、費用は左の表のとおりで経済的です。近日中に来年度の寮生の募集を開始する予定です。募集定員などの詳細は、各高校を通じて御案内いたします。詳しくは事務局までお尋ねください。

☆福島県学生寮事務局長 加藤、佐藤

☆福島県教育庁高等学校教育課 担当 斎藤、鈴木

☆福島県東京事務所 担当 斎藤、鈴木

☎〇二四五―二一七七七五
☎〇三―五二二―〇三二一

学生寮概要

	男子寮	女子寮
所在地(交通機関)	千葉県松戸市松戸 638-4 常磐線・千代田線松戸駅下車徒歩10分	渋谷区幡ヶ谷 3-72-9 京王線笹塚駅下車徒歩15分
募集予定	45名程度(全室個室)	15名程度(2人1室)
入寮時寄付金	30,000円	30,000円
生活費		
寮費	19,500円	18,000円
光熱水費	2,500円	1,000円
食費	21,800円	22,300円
計	43,800円	41,300円

ボイス・レポート

建設省の諮問機関である道路審議会では平成10年度からスタートする新しい道路計画をつくるにあたり、皆さんからの意見を取り入れた計画とするため、「21世紀のみちを考える委員会」[森地繁委員長(東京大学教授)]を設け、「キックオフ・レポート」を用いて、今年5月～7月にかけて皆さんから、「みち」に対するご意見を募集しました。お寄せいただいたご意見は全国の約3万5千人の方から意見件数は11万件を越えました。この意見を分析、検討して、この度「ボイス・レポート」としてとりまとめ発表しました。

「ボイス・レポート」については、以下にお問い合わせください。
☆建設省東北地方建設局郡山国道工事事務所調査課 ☎0249-46-0333
☆福島県庁土木部道路建設課 ☎0245-21-7468

暮らしと電気安全

■ぬれた手で電気器具に触れないで。ところでお母さんたちは、毎日洗濯や炊事で水をお使いでしょうが、電気器具をご使用になるときは、くれぐれも手を良く拭いてからスイッチやプラグを扱しましょう。また、停電やお客さまが来られてその場を離れるときは、電熱器やアイロンの電源を必ず切るようにしましょう。

伝言板

玉川公民館からのお知らせ

第34回 新春玉川村民囲碁将棋大会 参加者募集

新春恒例の玉川村民囲碁将棋大会を次により開催します。愛好者多数の参加をお待ちしております。

◆日時 平成9年1月26日(日) 午前9時開始(受付 午前8時30分～8時50分)

◆会場 玉川村就業改善センター 日本間

◆参加資格 村内に居住する小学生以上の方若しくは村内事業所等に勤務している方

◆試合方法 囲碁、将棋とも級別のリーグ戦方式

◆申込方法 参加申込書に参加費600円(昼食代)を添えて玉川村公民館に申込みしてください。

◆申込締切日 平成9年1月14日(火) (期日厳守)

◆その他 申込後参加できなくなった場合、参加費はお返ししません。

1月・2月の健康ごよみ

- 1月
- 8日(水) 股関節脱臼検診 午後1時～2時
 - 9日(木) すくすくクラブ 午前9時30分
 - 10日(金) 乳幼児健康相談 午前10時～
 - 1歳児お誕生検診 午後1時～
 - 22日(水) 三種混合予防接種 午後1時～
 - 母親教室 午後6時15分～
 - 23日(木) 三種混合予防接種 午後2時～
 - 24日(金) 3歳児検診 午後1時
- 2月
- 6日(木) すくすくクラブ 午前9時30分
 - 12日(水) 股関節脱臼検診 午後1時～2時

保:保健センター 須:須釜公民館
石:石川保健所 受:受付時間

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

●川辺の矢部 操さんから 5万円	●藤生の真弓勝昭さんから 3万円
●竜崎の小林隆次さんから 5万円	●南須釜の小原一郎さんから 3万円
●東京玉川会からふるさと福祉事業として 197,190円	●一龍斎貞花さんから 2万円

(村社会福祉協議会)

平成10年2月実施の 新郵便番号のお知らせ

郵政省では、平成10年2月2日(月)から現在の3けた又は5けたの郵便番号を7けたにすることとしております。つきましては、新郵便番号簿は、本年8月以降ご家庭に配布することとしておりますが、現在お住まいの地域の郵便番号をお知らせいたします。

玉川村	以下に記載がない場合	963-6300
才小	高	963-6312
川川	川 辺	963-6313
岩法	法 寺	963-6311
北須	北 須	963-6304
竜崎	竜 崎	963-6316
中	中	963-6315
藤生	藤 生	963-6314
南須	南 須	963-6302
山小	山 小	963-6305
吉	吉	963-6303
四辻	四辻	963-6301

お誕生おめでとうございます

(12月上半期届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
岩法寺	浅川 遥	修
竜崎	石井 智大	喜義

おくやみ申し上げます

(12月上半期届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川辺	矢部 文雄	87	操
藤生	真弓 ハルノ	84	幸子
竜崎	小林 キヨ	74	隆次

【納期限は1月27日(月)です。忘れずに納めましょう】

村 民 税	第4期
国 民 健康 保険 税	第7期
国 民 年 金 保 険 料	1月分

今月の納税

玉川村短歌会佳作抄

夫の帰還ひたすら念じ糸のごと細き生活に身を削りし日も
先生は自分一人の身にあらざ 今日もわれらの歌の導き
風雪にかたむくままの野仏に一輪の菊咲き匂いおり
全快の祝いに戴きしピラカンサ赤黄まじりてたわわに実る
採け防止に友と始めた将棋差しお茶も飲まずの熱戦つづく
新設の街灯もときに影うすれる提灯の灯に袂の揺れて
野も山も夜替えする風立ちてからからと音にうたう鬼火
素直にと期待の親を裏切りて菓立ちの子らの変身の自由

村公民館

- 小針 登里
- 吉田 サヨ
- 溝井はなよ
- 真弓 はん
- 小針 守次
- 吉田 英祐
- 小針 みね子
- 小針 愛子

泉・須釜両中学校創立50周年記念特集 恩師を訪ねて ⑧

「先生が須釜中学校に在職していた当時の思い出深い出来事と言えば……。」

「生徒会主催の路取でした。生徒会費が足りなくて生徒全員で汗を流して働いて、部活動や運営費に充てていました。もう一つは、野球部全員で篠切りをして、ボール代やバット代にしました。」

「当時の須釜中学校の生徒の印象は？」

「純朴で素直で明るく働き者が多かったように記憶しています。特に「たまこ」を乾燥させるときの仕事などには、みんな一生懸命に手伝いをしていたと思います。」



二本松市出身。福島大学卒。磐城中、朝日中、須釜中、熱海中、行健中、日和田中、湖南中、守山中で教鞭を執り現在は、福島県教育庁スポーツ健康課に勤務。趣味は、スポーツ鑑賞と野球。郡山市安積町に妻、子供3人、義父との5人暮らし。

松本 真先生

「在職期間は3年間でした。野球部での活動はいかがでしたか。」

「学友石川の野球場が出来た年だったと思います。当時、古殿町の竹貫中と対戦して延長で敗れてしまいました。県大会出場出来なかったことがたいへん印象に残っています。なんせ竹貫中はその年、県大会で優勝したのですから。」

「先生の近況を教えてください。」
「現在は、県の教育庁スポーツ健康課に勤務しています。」
※このコーナーへの恩師のご紹介を募集しています。

「地域の人達との「ふれあい」で思い出されることは？」
「PTA作業で土手につっじの苗を植えて環境美化に努めたことですね。」

「須釜中学校でしかできないかったことって何かありませんか？」
「保健体育でした。また、野球部の顧問をしておりま



シリーズ「たまかわの俗地名」
べっとう
『別当』の由来(北須釜)

北須釜字東関地内矢吹忠男氏宅を地元では通称「べっとう」と呼んでいて、老人達の間では現在も「べっとうの亡き忠治おんつあ」と言えはすぐ分かる。時代は定かでは無いが、矢吹忠男氏宅の裏山に明神様があつて、「味鋤高彦根命」を祭神とした神社であつた。矢吹氏の先祖が称宜を務めていたと思われる。現在は、須釜神社跡だけが残っている。先祖が別当職にあつたことからの地名が残つたという事

である。
なお、永享元年時代には森殿と東関、東ノ内の三ヶ所に神社が有り、文安元年第十三代大寺城主光義公が現在の須釜神社の地に移転し、藤原鎌足公、藤原義識公、味鋤高彦根命の御霊を勧請して祭神三柱とし酢釜大明神と改めた。更に明治二年に矢吹貞次郎翁が上京して須釜神社と改称し現在に至っている。
※別当職とは、寺の事務を統轄した職をいう。(草野今朝夫)

明けましておめでとうございませす。私の心に残る玉川は、今年の正月にも大勢の初詣の人で賑わつたであります。郷社「都々古別神社」です。ここでは良く遊びました。手造りのバット、板のベース、下駄箱をバツタネットに小学生の私たちが野球をするのに程良い広さの境内でした。夢中になって近くの実家から大声で呼ばれて帰ることが毎日のように続きました。他にも盆踊り、秋祭り、メンコ、ビー玉、陣取りゲームなど楽しい思い出がいっぱいあります。今でも帰郷の時には長い石段を昇つて、お詣りをして、実家の子供たちとキャッチボールをしたり、以前と変わっていない郷社に懐かしい心のやすらぎを感じております。空港、道路、学校と全てが新しくなり、古い景色が少なくなつて

編集委員の皆様のご活躍で広報「たまかわ」をいつも楽しく読ませて頂きありがとうございます。企画から発行まで大変なことと存じますが玉川をもっと広く、深く全国に知らせような広報作りをして下さいませようお願いいたします。
私の住んでいる浦和市も政令指定都市化とワールド杯サッカー場の問題でマスコミに載ることが多くなりまりました。

東京玉川会コーナー

心に残る
我がふるさと

『楽しかった郷社の思い出』

埼玉県浦和市
大木 靖 邦 さん
(南須釜出身・大木吉邦さんの弟)



私の小学生時代のスナップ